

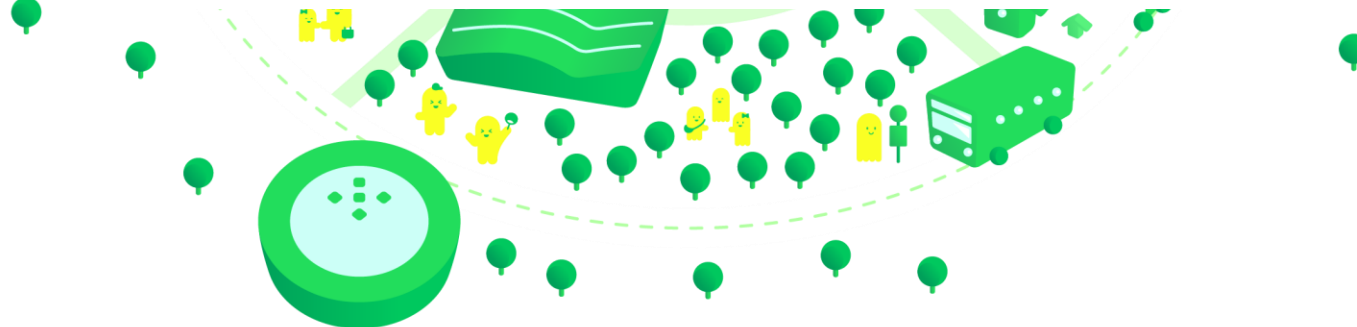
令和4年度 モビリティコンソーシアム モビリティ利活用PT



開始までお待ちください。

■ Zoomの設定のお願い

- カメラオン
- お名前:「会社名__お名前」



第3回2022年12月20日

オンライン会議

オンラインで進めるにあたり、以下について設定をお願いいたします

- 名前の表示
 - 「貴社（団体）名 お名前」としてください。（例：千葉市 鈴木）
- 会議中のカメラは常時オン、マイクは発言時のみオンとしてください。
- 発言は自由となります。適宜ご発言をお願いいたします。
 - 『チャット』や『手を挙げる』機能を活用いただいても構いません。
- 録音・録画、画面の撮影は厳禁でお願いいたします。
 - 発表資料に非公開情報が含まれます。



令和4年度 モビリティコンソーシアム モビリティ利活用PT



第3回2022年12月20日

PT全体の予定

全4回を通じて、施策の実現にむけ、施策の具体化、実行を進めます

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
マイルストーン			WG #1	PT #1	PT #2	WG #2			PT #3		PT #4	WG #3

第1回	第2回	第3回	第4回
<p>今年度の取組の方向性決め</p>	<p>施策の課題検討 / MaaSも絡めた施策アイデア出し</p>	<p>具体化施策の選定・詳細検討</p>	<p>実装・来年度にむけて検討</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 昨年度の取組を振り返り、今年度のPTでのスコープを定める 2. モビリティステーション設置に向け、アイデアを膨らませる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 回遊性向上施策の体制、課題検討 2. 回遊性向上施策とMaaSとの連動方法の検討 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 回遊性向上施策の実現に向けた具体化（計画、体制検討） 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 回遊性向上施策案の優先順位付け 2. MaaS実装を含めた回遊性の取り組みに対する残論点や課題の検討 3. 来年度に向けた目標設定

本日の目的とアジェンダ

本日は回遊性向上施策の実現に向けた体制づくりの検討を行います

目的

1. 回遊性向上施策の実現に向けた体制づくりに関する意見交換



	アジェンダ	発表者	時間 (90分)
09:30-	イントロダクション		
	本日の参加者・目的の確認	-	5分
	第2回の振り返り	事務局 (千葉市)	10分
09:45-	回遊性向上施策の実現に向けた体制づくりの検討		
	各社取り組みたい内容の発表(グループ内)		35分
	発表を受けてグループワーク		30分
	全体共有		10分

イントロダクション

本日の出席者は以下の通りです。

PT参加団体名（順不同）

東日本旅客鉄道株式会社	株式会社 幕張メッセ
コストコホールセールジャパン株式会社	株式会社千葉ステーションビル
京成バス株式会社	長谷川工業株式会社
株式会社スパサンフジ 幕張温泉 湯楽の里	N T T ドコモ千葉支店
株式会社建設技術研究所	シャープ株式会社
イオンモール株式会社	小田急電鉄株式会社
公益社団法人千葉市観光協会	神田外語大学
一般社団法人千葉県タクシー協会	

本日も欠席団体名（順不同）

株式会社 J T B コミュニケーションデザイン	久留米工業大学
OpenStreet株式会社	株式会社ヴァル研究所
損害保険ジャパン株式会社	イオンタウン株式会社
ビー・トランセホールディングス株式会社	イオンコンパス株式会社
公益財団法人日本サッカー協会	三ツ矢エミタタクシーHD株式会社

第2回の振り返り

次に、第2回の振り返りを行います

	アジェンダ	発表者	時間 (90分)
09:30-	イントロダクション		
	本日の参加者・目的の確認	-	5分
	第2回の振り返り	事務局 (千葉市)	10分
09:45-	回遊性向上施策の実現に向けた体制づくりの検討		
	各社取り組みたい内容の発表(グループ内)		35分
	発表を受けてグループワーク		30分
	全体共有		10分

モビリティ利活用PT

第1回、第2回PTでのアジェンダや検討内容は以下の通り

第1回PT（8月5日実施）

第2回PT（9月13日実施）

アジェンダ

1. 昨年度の取組を振り返り、今年度のPTでのスコープを定める
 - 昨年度の取り組み/検討内容の共有（回遊性向上PT、資源の最適化・共有化PTの取組み）
 - 今年度の取り組みの方向性（来訪者の回遊性向上）の共有
 - グループワーク：移動課題の解決にむけた施策だし
2. モビリティステーション設置に向け、アイデアを膨らませる
 - モビリティステーション設置事例共有
 - 新駅開業に向けた回遊性向上への取組の経過報告
 - グループワーク：モビリティステーション設置の立地、機能面の検討

幕張新都心の移動課題に対する解決施策を検討

主な検討内容

- **移動課題解決施策**
 - 移動課題：施設のスケールが大きい、適切なモビリティやパーク＆ライドの不足、混雑・渋滞の課題等
 - パーク＆ライド：駐車場・ポートの工夫、モノの移動の工夫等
 - モビリティライド：利用者へのインセンティブ制度設計、ユースケースに対応したモビリティの設置、街全体のブランディング等
- **モビリティステーション設置の検討**
 - 立地：駐車場や駅前、歩道・バス停への設置
 - 機能：認知拡大/視認性向上施策、充電スポット、休憩施設としての機能設置等

1. 回遊性向上施策の体制
 - 昨年度と第1回で出たアイデアから6つの施策に収斂
 - グループワーク：アイデアの内容の具体化、実行に向けての課題の洗い出し、解決策の検討
2. 回遊性向上施策とMaaSとの連動方法の検討
 - 今年度のMaaSの取り組み案について
 - グループワーク：回遊性向上施策とMaaSの連携、自社資源の活用についての検討

回遊性向上につながる施策案について、インパクトや実現可能性から整理して検討

- **回遊性向上施策実行に向けた課題**
 - 対利用者：認知拡大、インセンティブ設計、安全面の設計、高齢者や子供に向けた制度設計
 - 事業性：持続的なビジネスモデルの設計、費用負担
 - 連携：モビリティやインフラを共有できていない、役割分担、MaaSアプリとモビリティアプリの分断
 - インフラ：マイクロモビリティと歩行者の共存、防犯、規制緩和
- **MaaSとの連携**
 - 認知拡大のための施策、ルートやモビリティ横断での情報提供、リアルタイムでの情報提供、各施設との連携、既存のアカウントやポイント、決済手段との連携

モビリティ利活用PT

2回のPTを通しての検討の成果、今後の課題や要対応事項は以下の通り

これまでの検討の成果

<回遊性向上施策>

■ 施策の絞り込みと実現に向けた課題の検討

- 来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上
 - ・ 課題：インセンティブの費用負担、事業化、バス共同運営
- 日常利用している方むけに、商業施設内のスポットを連携させ、回遊性向上・パーク&ライドの推進
 - ・ 課題：役割分担、費用負担などのビジネスモデル確立
- 家族などの複数利用者向けに、大型商業施設と各商業施設を複数人が乗れるモビリティで結び、住民の回遊性向上
 - ・ 課題：子供の利用の安全面、自家用車との差別化
- 街全体でのブランディング/施設やモビリティに関する案内の充実を図ることで回遊性向上
- シニアの方向けのコンテンツも導入し、安全なモビリティで回遊性向上
 - ・ 課題：高齢者への理解促進
- ポートの設置、ゾーニングの設置による回遊性向上
 - ・ 課題：防犯や安全面、収益化、バス共同運営

<MaaS連携>

■ MaaSを連携して回遊性向上する施策の検討

- 認知拡大のための施策、ルートやモビリティ横断での情報提供、リアルタイムでの情報提供、各施設との連携、既存のアカウントやポイント、決済手段との連携

<モビリティステーション設置>

■ 設置場所、機能の検討

第3回PT取組内容 今後の課題・要対応事項

<回遊性向上施策>

■ これまでの検討を受け、実現に向けた体制づくり

- 実装に向けた協力体制構築
 - ・ 各施策の実行主体の打診
 - ・ 協力体制の構築
- 実装に向けた計画を策定
 - ・ 来年度に向けた施策の具体化
 - ・ 実行に向けたロードマップ策定

・ 第3回PTではMaaS連携を含めた「回遊性向上施策」の更なる具体化・練上げを目標に、各社が取り組みたい内容を共有
 ・ 併せて他の分野で取り組みたい内容も共有

<MaaS連携>

■ 回遊性向上に向けたMaaS連携の検討

- 来年度に向けた回遊性向上施策とMaaSの連携体制の構築

<モビリティステーション設置>

■ 設置場所の検討

- 新駅開業時のモビリティステーション設置への準備
 - ・ 回遊性向上の観点からモビリティステーションの具体的機能の検討
 - ・ 設置場所を検討

- ・ マイクロモビリティPTでも機能面を中心に検討
- ・ 12/15（木）にさいたま新都心での現地視察実施

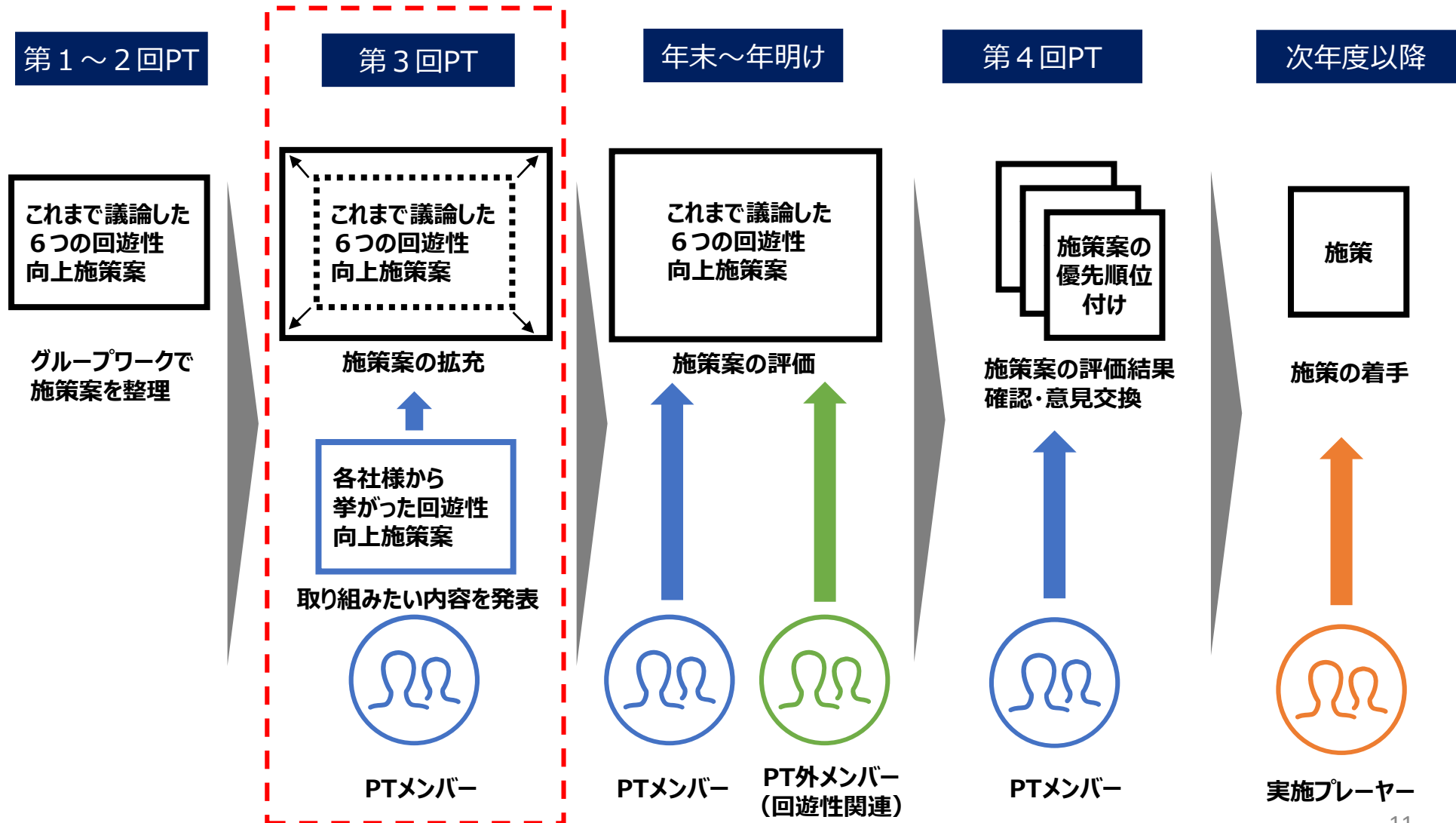
第2回の振り返り

第2回PTで選定した6つの施策は以下の通り

	選定アイデア	想定ユーザー	モビリティ例	回遊コース例
A	来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上 (海浜幕張エリア)	<ul style="list-style-type: none"> ■若者世代（来訪者） 	<ul style="list-style-type: none"> ■オンデマンド交通 ■シェアサイクル ■循環バス 	<ul style="list-style-type: none"> ■幕張メッセ⇔イオンモール・施設
B	日常利用している方むけに、商業施設内のスポットを連携させ、回遊性向上・パーク&ライドの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■学生・サラリーマン ■来訪者 	<ul style="list-style-type: none"> ■シェアサイクル ■電動キックボード ■マイカー（親の送迎） ■循環バス 	<ul style="list-style-type: none"> ■学校⇔自習スペース・飲食店 ■幕張メッセ⇔商業施設・小売店・飲食店・テレワーク施設
C	家族などの複数利用者むけに、イオンモールと各商業施設を複数人が乗れるモビリティで結び、住民の回遊性向上 (幕張豊砂駅)	<ul style="list-style-type: none"> ■住民 ■子育て世代 ■3世代家族 	<ul style="list-style-type: none"> ■オンデマンド交通 ■シェアサイクル ■循環バス、循環小型バス ■小型モビリティ ■友人の車 	<ul style="list-style-type: none"> ■自宅・習い事教室 ⇔ イオンモール・飲食店・小売店 ■イオンモール⇔幕張海浜公園・湯楽の里 ■●●教室⇔湯楽の里
D	シニアの方向けのコンテンツも導入し、安全なモビリティで回遊性向上	<ul style="list-style-type: none"> ■シルバー・シニア 	<ul style="list-style-type: none"> ■タクシー ■オンデマンド交通 ■循環バス ■リンスローモビリティ 	<ul style="list-style-type: none"> ■自宅⇔病院・クリニック・飲食店 ■コミュニティ施設（公園、メッセ、モール等）⇔小売・スーパー・クリニック ■自宅⇔地域貢献活動場所・飲食店 ■コミュニティ施設⇔飲食店・小売店
E	ポートの設置、ゾーニングの設置による回遊性向上	—	<ul style="list-style-type: none"> ■各マイクロモビリティ 	<ul style="list-style-type: none"> ■パーク&ライド ■各施設⇔駅・各施設⇔各施設
F	街全体でのブランディング/ 施設やモビリティに関する案内の充実を図ることで回遊性向上	<ul style="list-style-type: none"> ■来訪者、住民 	<ul style="list-style-type: none"> ■歩行者と共存可能な小型モビリティ（複数人乗車orパーソナル） 	<ul style="list-style-type: none"> ■バレンタイン通り⇔美浜プロムナード

モビリティ利活用PT

第3回PT以降の流れは以下のとおりを予定



回遊性向上施策の実現に向けた体制づくりの検討

次に、回遊性向上施策の実現に向けた体制づくりの検討に移ります

	アジェンダ	発表者	時間 (90分)
09:30-	イントロダクション		
	本日の参加者・目的の確認	-	5分
	第2回の振り返り	事務局 (千葉市)	10分
09:45-	回遊性向上施策の実現に向けた体制づくりの検討		
	各社取り組みたい内容の発表(グループ内)		35分
	発表を受けてグループワーク		30分
	全体共有		10分

回遊性向上施策の実現に向けた体制づくりの検討

今回は、事前に発表資料をご準備いただきました

事前



1 発表資料の準備

各社内で検討し、発表資料の準備をする



2 各社発表

グループ内で各社取り組みたいことを発表する



3 グループワーク

グループ内で施策実現に向けた体制づくりについて活発な話し合いをする

回遊性向上施策の実現に向けた体制づくりの検討

事前にご準備いただいた資料をグループ内で発表し、それを受けたグループワークを行います



1 発表資料の準備

各社内で検討し、発表資料の準備をする

本日



2 各社発表

グループ内で各社取り組みたいことを発表する



3 グループワーク

グループ内で施策実現に向けた体制づくりについて活発な話し合いをする

各社ご発表内容・グループ分け

本日は、事前にご準備いただいた資料をグループ内で発表し、それを受けたグループワークを行います

グループ ①	「A:来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上」についてご発表頂き、話し合います	イオンモール株式会社	A:来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上
		東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社	A:来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上
		株式会社NTTドコモ 千葉支店	A:来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上
		株式会社千葉ステーションビル	A:来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上
		株式会社幕張メッセ	A:来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上
		京成バス株式会社	A:来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上
グループ ②	様々なモビリティ、MaaSアプリを利用した回遊性向上施策についてご発表頂き、話し合います	コストコホールセールジャパン株式会社	C:家族などの複数利用者を想定したモビリティで各商業施設を結ぶ
		シャープ株式会社	D:シニアの方向けのコンテンツも導入し、安全なモビリティで回遊性向上
		長谷川工業株式会社	E:ポートの設置,ゾーニングの設置による回遊性の向上
		JFA夢フィールド幕張温泉湯楽の里	その他:巡回バス等モビリティの活用による回遊性向上
		株式会社建設技術研究所	その他:MaaS領域での貢献範囲や事例など
本日も欠席の企業様のご発表内容		ビー・トランセHD株式会社	A:来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上

各社発表・グループワークの流れ

事前にご準備いただいた資料の発表とそれを受けたグループワークの流れは以下の通り

ワークの目的

各社が自社内で検討可能な施策を発表することで、回遊性向上施策の実現に向けた具体的・現実的な検討を行う

ワークの前提

第2回PTで選定した施策ごとに、各社取り組みたい内容をプレゼンする

ワークの進め方

Step 1

- 事前にご準備いただいた資料をもとに、スライド3~4枚、1社5分程度で発表し、2分程度質疑応答する。発表と質疑応答が終了次第、グループ内で各企業分繰り返す

35分(1社7分)

資料の投影は各社ご自身でよろしくお願いたします
 投影が難しい場合は事務局が行います

Step 2

- 各社が発表した施策案の絞り込み
 - 複数の施策でコラボやまとめられるものがないか検討
 - どの施策から取り組むかの優先順位付け
 - ✓ 観点：実現可能性、ニーズ、期間等
- 実装に向けた討議
 - 実施体制（チーム内での協力体制、外部の巻き込み）
 - 課題の洗い出し
 - スケジュール

30分

回遊性向上施策の実現に向けた体制づくりの検討

最後に、各グループから全体共有を行います

	アジェンダ	発表者	時間 (90分)
09:30-	イントロダクション		
	本日の参加者・目的の確認	-	5分
	第2回の振り返り	事務局 (千葉市)	10分
09:45-	回遊性向上施策の実現に向けた体制づくりの検討		
	各社取り組みたい内容の発表(グループ内)		35分
	発表を受けてグループワーク		30分
	全体共有		10分

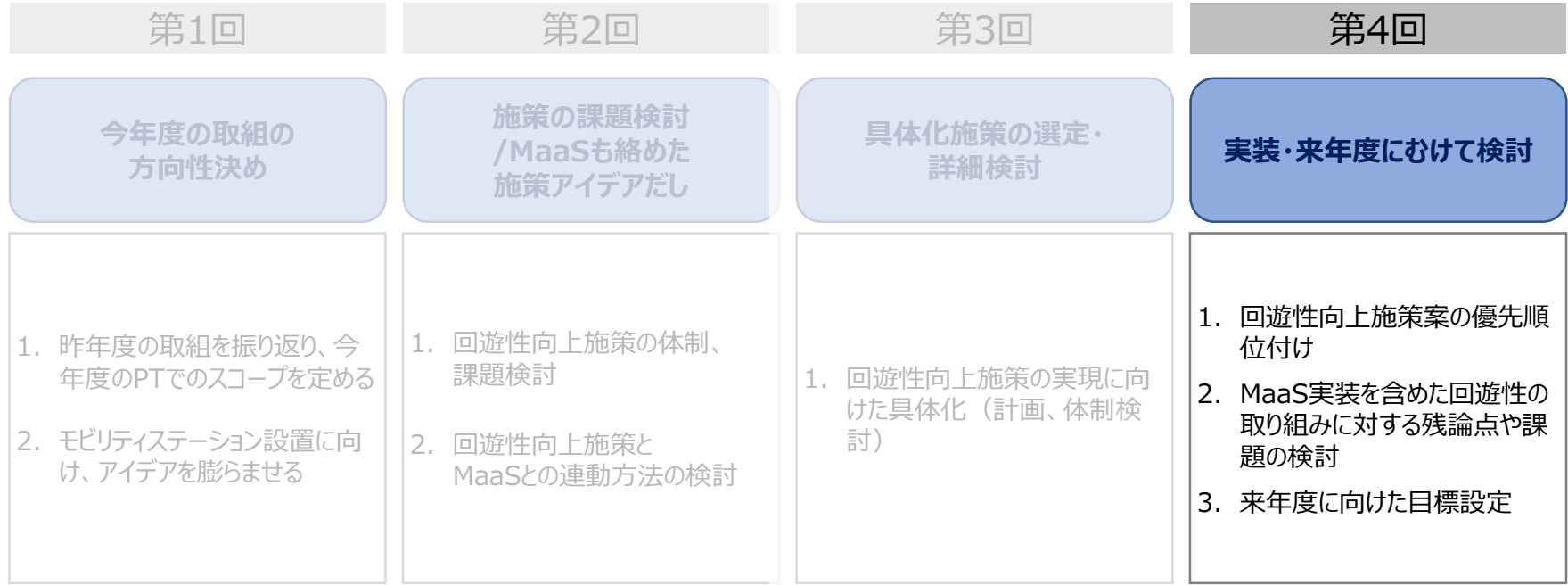
次回までのお願い・アナウンス

事務局より

PT全体の予定

全4回を通じて、施策の実現にむけ、施策の具体化、実行を進めます

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
マイルストーン			WG #1	PT #1	PT #2	WG #2			PT #3		PT #4	WG #3



アナウンス

次回までのお願いとアナウンスは以下の通り

1. 来年度の施策実行に向け、今年度検討した施策案を評価・選定します

■ 評価の概要

- 来年度施策実行のため、「**選定した6つの回遊性向上施策案**」の優先順位をつける
※なお、6つの回遊性向上施策案以外については、別途対応を検討中

■ 評価の対象となる施策

- **議論を進めてきた6つの回遊性向上施策案**
(第3回での各社様の発表・討議内容を、社名は非公開にした上で盛り込む)

■ 評価者

- PTメンバー及び（回遊性向上の取組みに関連する）PT外メンバーの皆様、事務局

■ 評価方法

- 匿名でアンケートフォームで評価

■ 評価期間

- ～第4回PTまで

2. 第4回PT、第3回WG、第5回総会の開催予定時期について

- 第4回PT：2月上旬～中旬
- 第3回WG：2月中旬～下旬
- 第5回総会：3月上旬～中旬

「学」
について

IMAGE
NOTE

令和4年度 モビリティコンソーシアム

ありがとうございました！

MAKUHARI
NEW URBAN
CENTER

以上